

# 施策評価シート

評価実施年度：平成29年度

事務事業所管部局長 (幹事部局)	農林水産部長 松浦芳彦	電話番号 0852-22-5105
---------------------	-------------	-------------------

## ①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅱ-5-5 農山漁村の多面的機能の維持・発揮
目的	農林水産物の生産の場であるとともに、地域住民の生活の場でもある農山漁村において、農林水産業や地域活動を推進することで、国土の保全、水源かん養、豊かな自然環境や美しい景観の保全、文化の伝承など、多面的機能の維持・発揮を進めます。

## ②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
多面的機能支払取組面積	目標値		22,600.0	23,000.0	23,400.0	23,800.0	ha	集落営農法人数	目標値		229.0	248.0	267.0	286.0	法人
	取組目標値								取組目標値						
	実績値	22,504.0	22,681.0						実績値	209.0	223.0				
	達成率	—	100.4	—	—	—			達成率	—	97.4	—	—	—	
中山間地域等直接支払い制度協定面積	目標値	13,300.0	13,300.0	13,300.0	13,300.0	13,300.0	ha	地域ぐるみの鳥獣対策取組み数（累計）	目標値		31.0	34.0	37.0	41.0	箇所
	取組目標値								取組目標値						
	実績値	12,597.0	12,815.0						実績値	29.0	33.0				
	達成率	94.8	96.4	—	—	—			達成率	—	106.5	—	—	—	
定性目標	該当なし 平成28年度～平成31年度														
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）															

## ③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集落営農組織数は627組織となり、うち法人が223法人と着実に増加しているが、近年の傾向としてはベースが鈍化してきている。</li> <li>○中山間地域等直接支払では、平成27年度から始まった第4期対策の初年度は高齢化などによって5年間の協定継続が難しいなどの理由で協定締結面積が減少していたが、市町村と連携して集落間の統合や連携調整を担う人材を配置したことで増加に転じた。</li> <li>○多面的機能支払交付金の取組面積は年々増加し、県内の農振農用地面積の約5%において取り組まれている。</li> <li>○水産多面的機能発揮対策では、現在13の組織が県下全域で各地域の実情にあった水産業・漁村の多面的機能発揮のための活動を行っている。</li> <li>○県内各地でイノシシやシカ等の鳥獣による被害が発生している。鳥獣被害は農林作物への直接的な被害はもとより、営農意欲の低下や耕作放棄地の増加にもつながることから、中山間地域においては深刻な状況である。</li> </ul>
---	---

## ④総合的な評価

評価時点での総合的な評価  A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる(見直す点がある) C:あまり順調に進んでいない	判断	その理由
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中山間地域等直接支払では、市町村と連携し、集落間の統合や連携調整を担う人材を配置したことによって協定締結面積が218ha増加した。</li> <li>○多面的機能支払交付金では、市町村や地域協議会と連携して相談会などを実施した結果、取組面積が177ha増加した。</li> <li>○水産多面的機能発揮対策では、組織の統合等によって現在13の活動組織が県下全域の広い範囲で水産業・漁村が有する多面的機能の発揮に資する活動に取り組んでいる。</li> <li>○地域ぐるみの鳥獣対策では、各地域の実情にあった防除・捕獲対策を総合的に進めることとし、地域への働きかけを行った。また、狩猟免許の新規取得者は300人を維持でき、今後の捕獲の担い手として期待される。</li> </ul>

## ⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況(予測) A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由(④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載)
(2)施策の目的達成に向けての課題	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業者の高齢化、農村地域の過疎化、米価下落、平成30年の米政策の見直し等による農業者の将来への不安を解消し、集落営農の組織化や法人化を進めていくことが必要。</li> <li>○多面的機能支払交付金については、小規模組織が多く、高齢化に伴い事務作業に携わる役員へのなり手がなくなり、活動拡大はもとより、組織の維持・継続に苦慮する地域が増えてきていることから、他集落や他組織との統合や連携、事務作業の外部委託などを進めていくことが必要。</li> <li>○農林作物の鳥獣被害は全市町村で発生し高い水準で推移しているなか、集落で地域ぐるみの対策が行われるようになったが、営農組織等による効果的な対策が行われているものはまだ少なく、さらなる働きかけが必要。また、狩猟免許の取得者は増えているが、有害捕獲の担い手は不足しており引き続き確保対策が必要。</li> </ul>

## ⑥今後の取組の方向性

課題解決に向けての今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小さな経営面積でも米の直販、経営の多角化などで経営を成り立たせるような取り組み、単独の組織ではなかなかできないような取り組みを広域的に連携することで事業化して地域を面的に守る取り組み、地域資源を活かしたナリワイづくりによって地域内の経済循環を高める取り組みなどを進めていく。</li> <li>○中山間地域等で、耕作放棄地の発生防止、水路・農道等の維持管理、農作業の共同化などに取り組む中山間地域等直接支払の協定面積が増加するよう、近隣の集落との統合や連携調整を担う人材を配置し、集落協定の広域化を推進する。</li> <li>○農業・農村が有する多面的機能を維持していくために地域共同で取り組む多面的機能支払交付金の取組面積を増やしていくために、未取組地域に他地域での取組事例を紹介しながら新規の取り組みを促進したり、活動中の組織が継続していけるように組織の合併や事務の外部委託など課題の解決に向けて、県・市町村及び地域協議会が連携して活動組織を支援する。</li> <li>○漁業者等が行う水産の多面的機能の発揮に資する活動(国境・水域の監視、水域の保全、水辺の保全等)が計画的に実施できるよう、関係する市町村等の関与を増やし、指導・助言を行う。</li> <li>○有害捕獲の担い手を確保するため狩猟免許取得に向けた研修を実施したり、市町村の実情に応じて地域ぐるみで対策に取り組む集落等への重点支援や技術導入支援などを行う。</li> </ul>
--------------------	--

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅱ-5-5 農山漁村の多面的機能の維持・発揮
-------	--------------------------

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	野生鳥獣被害対策事業	農林業被害に対して、効果的・効率的な対策を行う	157,584	186,571	森林整備課
2	集落営農体制強化スピードアップ事業	集落営農の法人化、広域連携組織づくり、地域資源を活かしたナリワイづくり(多業化)を推進することで、地域農業を面的に守る仕組みをつくる。	46,985	70,381	農業経営課
3	中山間地域等直接支払事業	農業生産活動等を通じて農地が適切に管理されることにより、中山間地域等の農地が持つ多面的機能の維持と集落等の活性化を図る。	1,423,794	1,465,740	農業経営課
4	多面的機能支払交付金事業	農業・農村の有する多面機能を維持・発揮するために、地域住民が一体となった農地・農業用水路等の地域資源や農村環境を守る地域共同活動を推進する。	1,266,090	1,310,366	農村整備課
5	中山間ふるさと・水と土基金事業	県民等が中山間地域等の農業や農村に関する関心を高め、農地等の保全活動に参加する。	20,142	24,938	農村整備課
6	水産多面的機能発揮対策事業	環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動を支援する。	4,687	5,696	水産課
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					